

【活用にあって】

「鈴鹿の信号機、根元からポキリ」

あらっ、どうしたのだろうと興味をそそられます。原因は「犬の尿？」。今度は、「どうして？」と頭の中は「？」でいっぱいです。

ということで、本ワークシートでは、なぜそのような結論になったのかという具体的な事実を読み取ります。今後の対策についても、同様に読み取っていきます。「～だから、・・・だ」という原因と結果（因果関係）をつかみましょう。

この記事に関しては、「中日春秋」というコラムでも取り上げられています。次ページに掲載します。

解答例

問 1 : ① 同じ交差点の別の信号と比べ 42 倍の尿素が検出された。

② 新たに設置した信号機に犬が尿をかけているのを確認できた。

問 2 : ① 尿をかけるのはやめてほしいと訴えた。

② 信号機の側面に傾斜を付けたコンクリート製の土台を設けた。

中日春秋

〈さあ事だ馬のしよんべん渡し船〉。落語の「岸柳島」のまくらにこんな川柳が出てくる。その昔の渡し船には馬も一緒に乗せていた。その馬が狭い船の中で勢いよく…となれば、確かに大ごとである▼〈さあ事だ〉となるのはなにも渡し船の馬に限らぬらしい。三重県鈴鹿市での信号機が腐食し、倒れた事故である。耐用年数を五十年と見込んでいたが、半分程度の二十三年で倒れてしまった。県警科学捜査研究所の分析によると、どうやら原因は犬のオシッコらしい▼倒れた信号機は犬の散歩コースにあり、根元からは別の信号機に比べ、四十倍を超える尿素が検出されたそうだ。馬に比べれば、少量の犬のそれだが、積もり積もれば、信号機さえ倒すのか▼散歩途中の排せつを防ぐため、散歩前に用足しを済ませてとはよく聞かぬが、飼っている側からするとこれがなかなか難しい。どんなにしっかりと電柱などでマーキングをしてしまつことはある▼難しいといえども根気よく教え、腐食しやすい鉄製の信号機や標識の前で片足を上げたときなどは大声でしかるしかあるまい。万が一には水でしっかり洗い清める。少量の水をおまじない程度に振りかけている飼い主をお見かけするが、これでは効果は薄かろう▼原因は犬の尿かもしれないが、やはりそれは人の粗相である。気をつけたい。犬に「悪役」を押しつけてはなるまい。